

おこる^{とき}時は ゆっくり

やわ 柔らか^な 答え^{こた}は
いきどお^{しず}りを 静める。
(箴言 15:1、新改訳聖書)



だれかが 自分^{じぶん}の 気^きに さわる ことや
あたま
頭^{あたま}に くる ことを する ことって、あるよね。
せいしょ
聖書^{せいしょ}には、おこる^{とき} 時^{とき}は ゆっくりって、
か
書^かいてあるんだ。何^{なに}かを
ゆっくりする ということは、
することや 言^いう ことについて、
よぶん じかん
余分^{よぶん}な 時間^{じかん}を かけると
いうことだよ。





もしだれかが^{あたま}頭に くることを
したり 言^いったり したら、おこって
言^いい返^{かえ}すか 何^{なに}か したくなって
しまうよね。だけど、それは
おこるのに ゆっくりすることでは
ない。問題^{もんだい}を 大^{おお}きく してしまう
だけなんだ。イエス様^{さま}は、
ぼくたちが ほかの 人^{ひと}の したことに
対^{たい}して 反^{はん}応^{のう}する 前^{まえ}に、ちゃんと
考^{かん}えてほしいと 思^{おも}っておられる。
おこる 代^かわりに、愛^{あい}のうちに
物事^{ものごと}を 解^{かい}決^{けつ}してほしいんだ。



こんど だれかが 君の 頭に
くるような ことをしたら、
あわてないで、まちがった
行いや みにくい 言葉に 対して、
親切と やさしさをもって
答える 方法を 考えるように
してごらん。あわてず、
忍耐を もって 行動するんだ。
そのほうが、問題は もっと
簡単に 片付くんだよ。



やってみよう

なにかのことで頭に くる時は、下の
言い方を 思い出すように してみよう。

頭に きた時は、ゆっくり 答えよう。
まず、1、2、3を 数えよう。

文：カチューシャ・ジュスティ 絵：サビーン・リッチ デザイン：ステファン・ミラー
Copyright © 2010 年、ファミリーインターナショナル
"Slow to Become Angry" -- Japanese



18: おこる 時は ゆっくり